



京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト

単元「リアルデートDV」の概要

「『生きる』教育」とは

「『生きる』教育」とは、子どもたちが直面する「人生の困難」を解決するために必要な知識を習得し、友だちと真剣に話し合うことで安全な価値観を育むことをめざす教育です。子どもたちにとって一番身近であり、心の傷に直結しやすいテーマをも授業の舞台にのせ、社会問題として捉えなおすとともに、授業の力で子どもたち相互にエンパワメントを生み出し、個のレジリエンスへつなげることをめざしています。

単元「リアルデートDV」について

単元「リアルデートDV」（中学校2年生以上対象）では、デートDVの実態やメカニズムについて学ぶことを通して、親密なパートナー間での暴力について知識を身につけ、幸せなパートナーシップを築けるようになることを目指します。生徒たちは、親密なパートナーとの関係がときに社会的・心理的な問題へと発展することを知り、支配・依存関係のサイクルを抜け出す方法を追究します。「親密なパートナーとの関係」という一見私的なテーマを、心の傷や社会問題へと発展しうるものと捉えなおす点、支配・依存関係を跳ね除ける価値観を育む点で、「『生きる』教育」の理念を表現する単元と言えます。

※本サイトで紹介している教材・教具は、大阪市立田島南小学校の先生方（西村健一郎先生ほか）の実践に基づきつつ、様々な学校で実践しやすい普及版として作成しております。

※実践の詳しい進め方については、小野太恵子・木村幹彦・塩見貴志編著『「『生きる』教育」——自己肯定感を育み、自己と相手を大切にする方法を学ぶ』（日本標準、2022年）、及び今垣清彦・小野太恵子・別所美佐子・田中梓編『「『生きる』教育」全学習指導案集——「安心・安全・愛情」を保障する9年間の教育プログラム』（日本標準、2024年）もご参照ください。



デートDV 分類ワーク(展開2)

単元の構成（授業 1 時間分で構成した例）

時数	授業のおおまかな内容
導入	恋愛模様を描くイラストや漫画を提示し、「あり」か「なし」か話します。いずれのものもデートDVに発展する可能性を秘めたものですが、生徒たちは自由に価値観を出し合い、授業への関心を高めます。
展開 1	恋愛感情の生物学的なしくみを確認したのち、恋愛感情が暴走する事例について学びます。デートDVのリアルな事例を動画で見た上で、デートDVの定義を知ること、デートDVの中で行われる「暴力」のイメージを実感をもって掴みます。
展開 2	4コマ漫画やデートDVの事例が書かれた短冊を使って、それらがどのような暴力に該当するのか分類します。デートDVの多様なバリエーションをここで確認し、デートDVの具体的な内容やそれらの身近さを学びます。
展開 3	デートDVから抜け出すことを困難にする、支配と依存のメカニズムについて学びます。ここでは、漫画で描かれたデートDVを丁寧に追っていくことで、デートDVは暴力による支配と蜜月による依存の両者を繰り返して維持されることを理解します。
まとめ	幸せなパートナーシップを築くためのルールをつくり、授業を締めくくります。ここでは、デートDVに陥るきっかけや、デートDVを維持する行動を避けるルールになっているかを重視します。



支配と依存のメカニズムを考える（展開 3）



教材となる漫画（展開 2・3）

【出典】（左）陸前高田市福祉部子ども未来課発行『もしかしたら、ワタシ…被害者かも。— デートDV～あなたの近くにある暴力～』（制作協力：公益財団法人 日本ユニセフ協会）。／（右）山口のリ子著『愛する、愛される 増補版 — デートDVをなくす・若者のためのレッスン』（漫画・海里真弓 梨の木舎、2017年）。

単元の指導にあたって準備する教材・教具のリスト

使用する場面	種類	必要枚数など
授業全体で 用いる教具	0. 授業用スライド	教師用
展開 2	2-1. 4コマ漫画(班活動用、板書用)	各班に1セット 板書用に1セット
	2-2. 分類ワーク用短冊(班活動用、板書用)	各班に1セット 板書用に1セット
	2-3. 分類ワーク用ワークシート	各班に1枚
	2-4. 暴力種の見出し(板書用)	1セット
	2-5. 罪状の見出し(板書用)	1セット
展開 3	3-1. 漫画プリント	各ペアに1枚
	3-2. 丸シール [緑、黄、赤]	沢山
	3-3. 信号機 [青、黄、赤] (板書用)	1セット
	3-4. ピクトグラム(板書用)	1セット
	3-5. 漫画コマ(板書用)	1セット
まとめ	4. 短冊(ルール記入用)	各班に1~2枚

※本教材・教具の作成にあたっては、陸前高田市福祉部子ども未来課発行『もしかしたら、ワタシ…被害者かも。 — デートDV～あなたの近くにある暴力～』（制作協力：公益財団法人 日本ユニセフ協会）、および山口のり子様の著書（『愛する、愛される 増補版 — デートDVをなくす・若者のためのレッスン』漫画・海里真弓 梨の木舎、2017年）より、著作物の利用の許諾をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

※本教材・教具は、京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センターE.FORUM が、SMBC 京大スタジオにおける共同事業「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」（通称：「『生きる』教育」プロジェクト）の一環として作成いたしました。作成は、下記の者が担当いたしました。

清水一希、多田理紗子、田原聡美、奥村旅人、山本尚毅、西岡加名恵

※本教材・教具に関するお問い合わせは下記までお願いします。

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター E.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト事務局

E-mail e-forum.ikiru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp